kuraray



ーテントの魅力ー 総合カタログ

AWNING TENT

C A T A L O G

2016~

TAK

kuraray



テントの魅力を伝えたい。



街を彩り、人々の心までも動かす

不思議な魅力。

いつもは明るく、ある時はエレガントに、

時にはシックに。

同じ色でも、日によって、見る人によって

印象が変わる、

オーニングテント。

そんな魅力をあなたのもとに。

IRODORI 彩FC

基布：ポリエステル100%
規格：94cm×50m(乱)
防炎製品認定番号：F-15106
表面処理：フッ素系樹脂コート

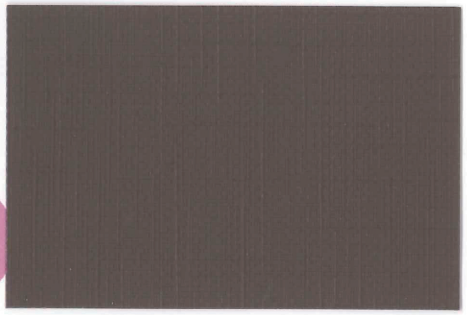
遮熱機能 / 防炎加工 / ひかり触媒 / アクリル防汚 / フッ素防汚 / 撥水加工
吸水防止加工 / 防滴加工 / リサイクル / UVカット加工 / 日本製

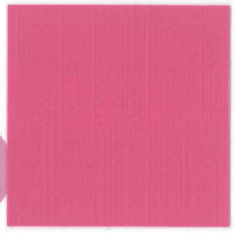
シルクタッチのやわらな質感が、
洗練された雰囲気を醸し出します。
全31色で幅広い演出が可能です。

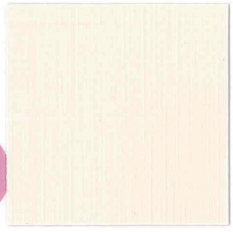


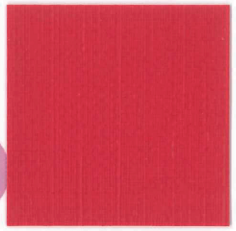
人気カラー、オススメカラーのランキング。豊富なラインナップの中で迷った時にはコチラから。
落ち着いた色味と風合いが人気です。

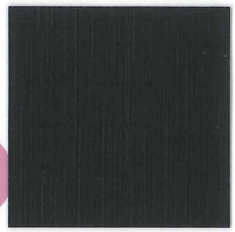
人気カラー Best 6

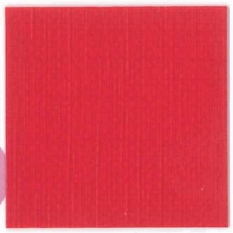
No.1

9170F こげ茶色（ちゃ）

No.2

7001F 牡丹色（ぼたん）

No.3

7008F 豆乳色（とうにゅう）

No.4

9122F 赤色（あか）

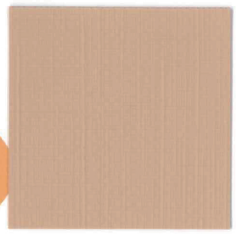
No.5

9180F 墨色（すみ）

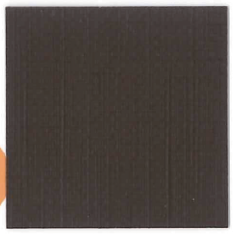
No.6

9123F 紅赤色（べにあか）

オススメカラー Best 3

No.1

9340F 千歳緑色（ちとせみどり）

No.2

7010F 小麦色（こむぎ）

No.3

9177F 深茶色（ふかちゃ）

※ロットにより多少の色差があります。※使用条件により色調が変化することがあります。※写真はイメージです。

Color Lineup

31color



7007F 白色 しろ

7030F 生成色 きなり

7008F 豆乳色 とうにゅう

9172F 白砂色 しらすな

9130F 向日葵色 ひまわり

9126F 濃桜色 こいざくら

9152F 青空色 あおぞら

9121F 橙色 だいだい

7001F 牡丹色 ぼたん

9123F 紅赤色 べにあか

9122F 赤色 あか

9127F 茜色 あかね

9120F 紅色 べに

7010F 小麦色 こむぎ

9178F 琥珀色 こはく

9170F こげ茶色 ちゃ

9177F 深茶色 ふかちゃ

9173F 臙脂色 えんじ

9124F 躑躅色 つつじ



9141F 抹茶色 まっちゃ

9147F 松葉色 まつば

9149F 緑色 みどり

9340F 千歳緑色 ちとせみどり

9148F 深緑色 ふかみどり

9150F 瑠璃色 るり

9155F 群青色 ぐんじょう

9154F 藍色 あい



7023F 薄灰色 うすはい

7018F 灰色 はい

9185F 濃灰色 こいはい

9180F 墨色 すみ

※ロットにより多少の色差があります。※使用条件により色調が変化することがあります。※写真はイメージです。

パロニィFCテント
PALONY FC TENT

基布：ポリエステル100%
規格：94cm×50m(乱)
防炎製品認定番号：F-12061
表面処理：フッ素系樹脂コート

遮熱機能　防炎加工　ひかり触媒　アクリル防汚　フッ素防汚　撥水加工
吸水防止加工　防滴加工　リサイクル　UVカット加工　日本製

お薦めのスタンダードテント生地。
全31色の豊富な色揃えであらゆる空間を演出。
吸水防止加工付き。生地の変色を防止し、
テントの美しさを維持します。



人気カラー、オススメカラーのランキング。豊富なラインナップの中で迷った時にはコチラから。
鮮やかで華やかな印象を与えるカラーが人気です。

人気カラー Best 6

No.1
1130F オレンジ

No.2
1120F レッド

No.3
1141F ライムグリーン

No.4
1174F ダークブラウン

No.5
1153F セルリアンブルー

No.6
1123F キャロットオレンジ

オススメカラー Best 3

No.1
1117F ロイヤルパープル NEW

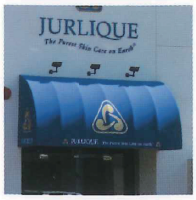
No.2
1122F ハイレッド NEW

No.3
1132F カナリアイエロー

※ロットにより多少の色差があります。※使用条件により色調が変化することがあります。※写真はイメージです。

Color Lineup

31color



4170F
クリーム

1132F
カナリアイエロー

1131F
マリーゴールド

1130F
オレンジ

1123F
キャロットオレンジ



1127F
ローズピンク

1110F
ビビットピンク

1220F
裏白スカーレット

1122F
ハイレッド NEW

1120F
レッド

1171F
サンセット

1172F
ライトキャメル

173F
ブラウン

1128F
ワインレッド

1124F
ルビーレッド



1340F
エメラルド

1140F
フレッシュグリーン

1141F
ライムグリーン

1142F
グリーン

1146F
ダークグリーン

1153F
セルリアンブルー

1150F
ブルー

1155F
ダークブルー

1117F
ロイヤルパープル NEW

1154F
ネイビー

1360F
透光ホワイト

1160F
ホワイト

1185F
グレー

1190F
シルバー

1174F
ダークブラウン

1184F
ブラック

※ロットにより多少の色差があります。※使用条件により色調が変化することがあります。※写真はイメージです。

測定方法

1. 引張強度・引張伸度 JIS L 1096 A法(ストリップ法)に準拠

A.サンプリング　幅3cm、長さ約30cmの試験片をたて方向及びよこ方向各3枚ずつ採取する。(図1)

B.試験概要　サンプリングした試験片を図2に示す通り引張試験機のつかみに取付け、
下記の条件で引張試験を行い、切断時の強さ[kgf(N)]および伸度[%]を測定し、
たて方向およびよこ方向それぞれ3回の平均値で表す。

C.試験条件　つかみ間隔20cm、引張速度20cm/分

D.測定結果例　「パロニィ」FCテントの場合

引張強度　たて 86.7kgf/3cm (850N/3cm)
よこ 86.7kgf/3cm (850N/3cm)
3cm幅の試験片を引っ張った時、たては86.7kgf (850N)、
よこは86.7kgf (850N)で切断される。

引張伸度　たて 16%
よこ 25%
上記引張試験で生地が切断するときの伸びが、
たて方向3.2cm (20cm×0.16)、
よこ方向5.0cm(20cm×0.25)となる。

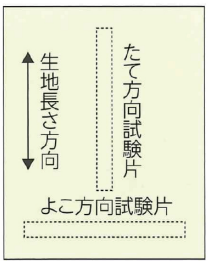


図1

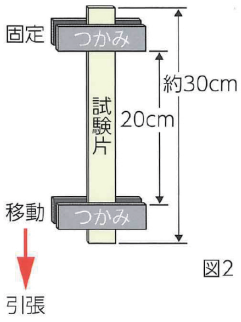


図2

2.-1 引裂強度 JIS L 1096 A-1法(シングルタング法)に準拠

A.サンプリング　幅5cm、長さ25cmの試験片をたて方向及びよこ方向各3枚採取し、
短辺の中央に辺と直角に10cmの切れ目を入れる。(図3)

B.試験概要　サンプリングした試験片を図4に示す通り引張試験機のつかみに取付け、
下記の条件で引裂試験を行い、引き裂く時に示す最大強さ[kgf(N)]を測定し、
3回の平均値で表す。
よこ糸引裂強さ…たて方向にサンプリングし、よこ糸を切断した時の引裂強さ
たて糸引裂強さ…よこ方向にサンプリングし、たて糸を切断した時の引裂強さ

C.試験条件　つかみ間隔10cm、引張速度15cm/分

D.測定結果例　「パロニィ」FCテントの場合

引張強度　たて9.2kgf(90N)
よこ5.6kgf (55N)
よこ方向にサンプリングし、たて糸を切断した時の最大強さが
9.2kgf (90N)となる。同様に、よこ糸を切断した時の最大強さが
5.6kgf (55N)となる。

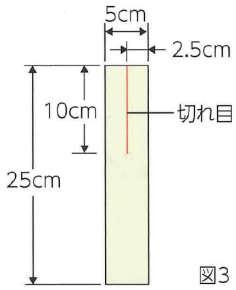


図3

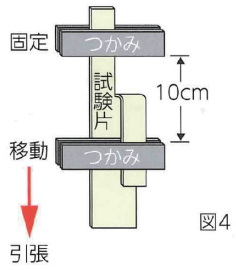


図4

2.-2 引裂強度 JIS L 1096 C法(トラペゾイド法)に準拠

A.サンプリング　幅7.5cm、長さ15cmの試験片をたて方向及びよこ方向各3枚採取し、
試験片上に等脚台形の印を付け、この印の短片の中央に辺と直角に
1cmの切れ目を入れる。(図5)

B.試験概要　サンプリングした試験片を図6に示す通り引張試験機のつかみに取付け、
下記の条件で引裂試験を行い、引き裂く時に示す最大強さ[kgf(N)]を測定し、
3回の平均値で表す。
よこ糸引裂強さ…たて方向にサンプリングし、よこ糸を切断した時の引裂強さ
たて糸引裂強さ…よこ方向にサンプリングし、たて糸を切断した時の引裂強さ

C.試験条件　つかみ間隔2.5cm、引張速度15cm/分

D.測定結果例　「シムカ」の場合

引張強度　たて 55.0kgf (539N)
よこ 48.9kgf (480N)
よこ方向にサンプリングし、たて糸を切断した時の最大強さが
55.0kgf (539N)となる。同様に、よこ糸を切断した時の最大強さが
48.9kgf (480N)となる。

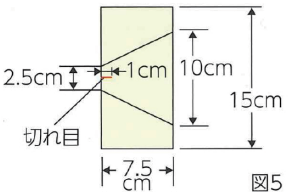


図5

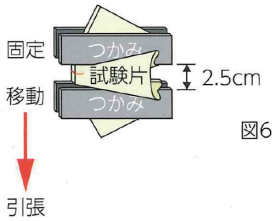


図6

3. 耐水圧 JIS L 1092 A法(低水圧法)に準拠

A.サンプリング 約15cm×15cmの試験片を4枚採取する。

B.試験概要 図7に示す耐水度試験装置(低水圧用)に試験片の表側(防水面又は使用時に水が当たる側)が水に当たるように取付け、水を入れた水準装置を60cm/分(1cm/秒)の速さで水位を上昇させる。
試験片の裏側に3ヶ所から水滴が出た時の水位を0.5cm単位で測定し、4回の平均値で表す。

C.測定結果例 「パロニィ」FCテントの場合
耐水圧1500mmH_2O以上
1500mmH_2Oの水圧がかかっても、
漏水することはないと考えられる。

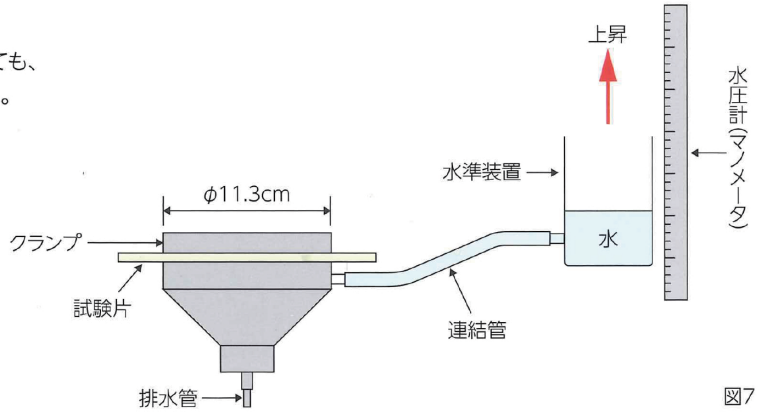


図7

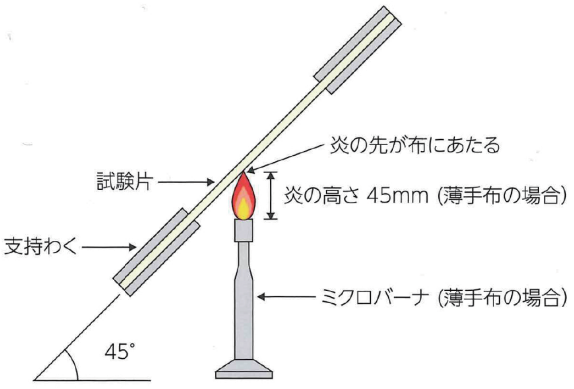
4. 防炎性能 消防法施行規則(第4条の3)に準拠

A.サンプリング 約35cm×25cmの試験片を3枚採取する。

B.試験概要 図8に示す燃焼試験装置にて接炎し、残炎(秒)・残じん(秒)・炭化面積(cm^2)を測定して判定する。
薄手布(450g/m^2以下):ミクロバーナ使用・炎の高さ45mm
厚手布(450g/m^2以上):メッケルバーナ使用・炎の高さ65mm

C.測定結果

	薄手布	厚手布
判定	合格	合格
残炎(秒)	3以下	5以下
残じん(秒)	5以下	20以下
炭化面積(cm^2)	30以下	40以下



※厚手布の場合:メッケルバーナ使用・炎の高さ 65mm

図8

テント生地(膜材料)使用上の注意

1)ロットNo.による品質・出荷管理について

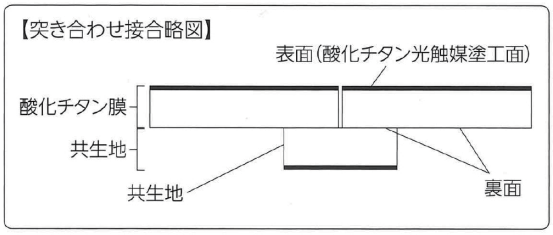
1.膜材料(原反)には、ロットNo.がサイドラベル(片側)に記載されております。
2.ロットNo.で品質・出荷管理をいたしておりますので、縫製された製品には製造番号を付与しこれに使用した膜材料のロットNo.を必ず記録・保存してください。
※膜材料のロットNo.の記録がない場合、製品に問題が生じても膜材料の品質証明を行うことが困難になります。
3.品質には万全を期しておりますが、万が一問題が生じましたら、直ちに当社まで膜材料の品番とロットNo.を連絡してください。

2)エクサランス縫製加工時のご注意

このテント材料には従来と全く異なった防汚技術である酸化チタン光触媒が用いられています。
お客様各位にて、実際に受注・施行する以前に、試作と試験暴露を実施されることを強くお薦めします。
酸化チタン光触媒は数ミクロンの厚みで塗工されています。
引っ掻き傷がつきやすく、溶剤で拭き取ると性能が著しく低下します。
加工・梱包・運搬・展張の際には酸化チタン光触媒に損傷を与えるような取扱いはしないでください。
酸化チタン光触媒が落ちた部分は、汚れが付着し著しく目立ちます。

●接合方法
表面の酸化チタン光触媒層は溶着できません。接合は、裏面から共生地の裏面を当て突き合わせ接合にしてください。
※ 高周波ウェルダー溶着をする場合は、平滑な電極(べた電極)を酸化チタン光触媒塗工面に使用してください。
※ 突き合わせ部から塩ビをわき出したり、共生地が見えたりしないように突き合わせ接合をしてください。わき出した塩ビや共生地部分の汚れが目立ちます。
※ 加工時にたぐり寄せてシワにしたり、光触媒面を強く引きずったりしないようにしてください。

【突き合わせ接合略図】



●チョークマーク(折り曲げ部分の白化)
濃い色の膜材では、折り曲げた部分でチョークマークが目立ち易い傾向があります。
チョークマークがついた場合には、直ちに軟らかいウエスで乾拭きをしてください。
チョークマークがなくなることはありませんが、目立ちにくくなります。
※チョークマークに気付いたときは、放置せず直ちに乾拭きしてください。放置すると消えにくくなります。

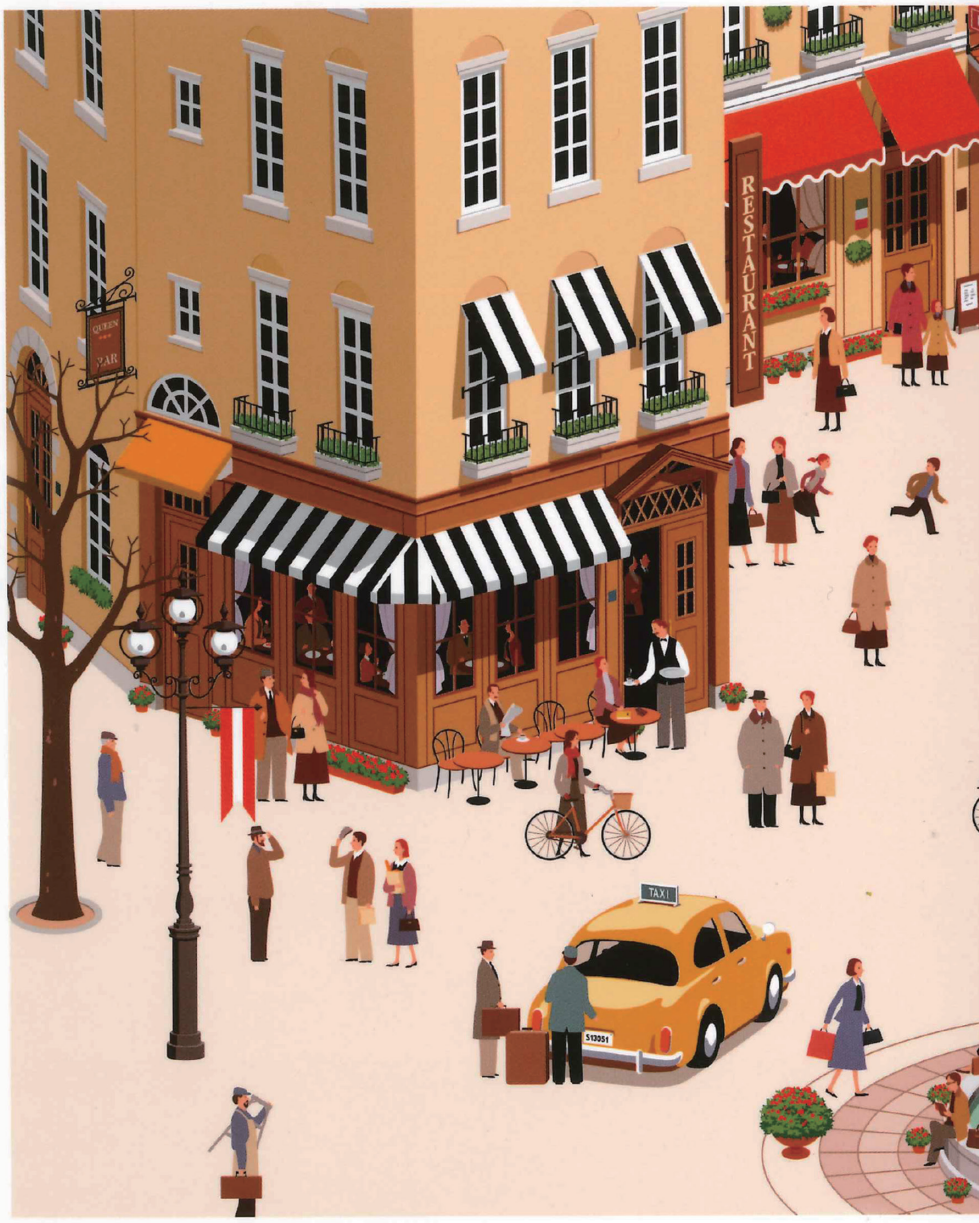
●文字等の書き込み
文字やイラストの書き込みには、マーキングフィルム(㈱中川ケミカル製テンタックなど)を使用してください。
ただし、マーキングフィルムは汚れます。また、その周囲は汚れが発生しやすくなります。
※インクやペンキによるペイントでは十分密着せず、時間経過と共に剥がれます。

3)膜材料使用上の注意

1.ライスター、パフ等の熱融着による接合の際は、臭気が発生しますので、必ず作業場を換気してください。
2.高周波ウェルダーで溶着する際は、溶着部分に通電性を有する物質が付着していると、稀にスパークを起こすことがありますので、ウェルダーバー及び膜材料の溶着部分に付着物のない状態で溶着してください。
3.防炎加工品が必要な際は、(財)日本防炎協会の試験に合格している膜材料、もしくは防炎製品認定を取得している膜材料を使用してください。
4.設計にあたっては、性能表の数値を参考にしてください。また、膜材料建築物には国土交通大臣により認定されている膜材料をご使用ください。
5.膜材料を安全に使用していただくためには、定期的に点検を実施してください。その際に、膜材料の樹脂に亀裂が生じていたり、基布が見えたり、破れなどを発見した場合は、直ちに膜材料の補修または更新をしてください。
6.生地の表面には方向性がありますので、幅継ぎの場合は一定方向に揃えてお取り付けください。
7.生地には表・裏がありますので、取り付けの際には裏面が外側にでないようにご注意ください。

4)廃棄について

膜材料及び膜材料縫製品を廃棄される際は、下記の方法で処理してください。
1.廃棄物処理法、都道府県条例に従って処理してください。
2.認可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。



製造元

kuraray
クラレプラスチックス株式会社

大阪　〒530-8611
大阪市北区角田町 8-1 梅田阪急ビルオフィスタワー 39F
TEL:(06)7635-1517 FAX:(06)7635-1528

東京　〒100-0004
東京都千代田区大手町 1-1-3 大手センタービル 6F
TEL:(03)6701-2290 FAX:(03)6701-2299

総販売元

TAK 高島株式会社

東京　〒101-8118
東京都千代田区神田駿河台 2-2 御茶ノ水杏雲ビル
TEL:(03)5217-7630 FAX:(03)5217-7243

大阪　〒530-0005
大阪市北区中之島 2-3-33 大阪三井物産ビル 13F
TEL:(06)6121-2024 FAX:(06)6121-2261

取扱店